

令和8年7月16日

座間市議会議長
松橋 淳郎 殿

委員会名
又は会派名 自由民主党座間市議団

氏 名 高波 貴志

市議会議員のためのハラスメント研修所感

今回の研修では、ハラスメントの定義や法的責任だけでなく、議員という立場に特有のハラスメントリスクについて、実際の判例を交えながら学ぶことができた。

特に印象に残ったのは、「悪気はなかった」「そのようなつもりではなかった」という発言者の意図ではなく、「受け手がどう受け止めたか」が重要な判断基準になるという点である。議員は市民や職員から見れば影響力を持つ立場であり、通常の依頼や指導のつもりであっても、相手には強い圧力として受け止められる可能性があることを改めて認識した。

また、ハラスメントは暴言や暴力だけではなく、時間外の連絡、必要以上の資料要求、SNSでの発信や「いいね」、容姿や私生活への言及など、日常の何気ない言動も対象となり得ることを学んだ。議員から職員へのセクシュアルハラスメント事案や、SNS上の「いいね」に対して損害賠償責任が認められた判例は、社会的影響力のある立場だからこそ、一般以上に慎重な言動が求められることを示しており、大変参考になった。

研修では、セルフチェックを通じて、自身の言動を客観的に振り返る機会も設けられた。講師からは「ハラスメントの多くは無意識のうちに起こる」「迷ったら一度立ち止まり、『これは相手を尊重した言動か』と考えることが重要である」との説明があり、この言葉は特に印象深かった。

質疑応答では、「なぜハラスメント防止が重要なのか」という質問に対し、被害者の人権や尊厳を守ることはもちろん、職場全体の信頼関係や組織の生産性を維持するためにも重要であるとの説明があった。議会においても、ハラスメントが発生すれば、本来取り組むべき政策議論や市民サービスの向上に時間や労力が割かれ、結果として市民の利益を損なうことにつながるとの考え方には大きく共感した。

今後は、市民の声を行政へ届け、必要な指摘や提言を行うという議員本来の役割を果たしつつも、相手の立場や受け止め方を常に意識し、影響力のある立場であることを自覚した言動に努めたい。また、SNSを含めた情報発信についても、誤解や不必要な対立を招かないよう十分配慮し、誰もが安心して相談や意見交換ができる環境づくりに努めていきたい。

今回の研修を通じて、ハラスメント防止は単に法令遵守の問題ではなく、議員として市民からの信頼を維持し、健全な議会運営を行うための基本姿勢であることを改めて認識し

た。今後の議員活動においても、本研修で学んだ内容を常に意識し、相手を尊重した言動を実践していきたい。